

適応判定委員会開催

適応判定委員会は、1月19日（土）午後3時よりAP品川にて開催されました。適応判定の結果は別表の通りでした。

学術運営委員会開催

学術運営委員会は、同日午後4時より同会議室にて学術運営委員、各委員会委員長及び専門委員会委員長出席のもと開催されました。

各委員長より委員会活動報告が行われた後、2019年度の事業計画（案）について審議しました。

お知らせ

1. 当協会成長ホルモン治療研究専門委員会 2018年発表論文

Kunihiko H, Toshiaki T, Reiko H,
Tomonobu H, Susumu Y.:
Prevalence of diverse complications and its
association with karyotypes in Japanese adult
women with Turner syndrome.
— a questionnaire survey by the Foundation
for Growth Science —
Endocr J 65(5):509-519, 2018

寄附ご芳名

ニュース113号以後、次の方々からご寄附がありました。

貴重なご寄附、誠に有難うございました。

J C R ファーマ (株) 殿
国際石油開発帝石 (株) 殿
日本イーライリリー (株) 殿
伊勢化学工業 (株) 殿
サント (株) 殿
北海道こんぶ消費拡大協議会 殿
(順不同)

マダガスカル共和国への ヨウ素酸カリウム贈呈式

昨年10月29日、千葉県庁に於いてマダガスカル共和国に対するヨウ素酸カリウム850kgの贈呈式が行われました。これは2015年に行われたスリランカ民主社会主義共和国への無償支援に続く援助で、国際的な観点から当協会と千葉県、日本ヨウ素工業会、京葉天然ガス協議会などのご協力により実現したものです。

マダガスカル共和国ではヨウ素欠乏により身体的、知能的な成長障害を来している人々が尚存在しており、ヨウ素を食塩に混ぜて配布することによりこれらの人々の健康に大変役に立ちます。

贈呈式ではマダガスカルの大使から今回のヨウ素の贈呈に関して丁重な御礼と御挨拶がありました。出席者は、在日マダガスカル共和国特命全権大使 ラクトゥマラ ミレイユ ミアル女史、千葉県副知事 滝川伸輔氏、日本ヨウ素工業会会長 藤野隆氏、副会長 舘良男氏、京葉天然ガス協議会会長 森武氏、当協会名誉顧問 入江實氏などの方々でした。

今回のヨウ素の贈呈によって、マダガスカルにおけるヨウ素欠乏症が撲滅の方向に向かうことを期待しております。



成長ホルモン適応判定委員会の活動状況
受付数及びその可否一覧表(2018年1月～12月末迄)

【成長ホルモン分泌不全性低身長症】

新規	受付総数	可	否	継続	受付総数	可	否	希望なし及び中止
	437	397	40		1,389	1,176	17	196

【ターナー症候群】

新規	受付総数	可	否	継続	受付総数	可	否	希望なし及び中止
	11	11	0		72	61	1	10

【軟骨異常栄養症】

新規	受付総数	可	否	保留	継続	受付総数	可	否	保留	希望なし及び中止
	42	18	23	1		65	62	0	0	3

【小児慢性腎不全性低身長症】

新規	受付総数	可	否	継続	受付総数	可	否	希望なし及び中止
	8	8	0		21	17	0	4

【プラダー・ウィリ症候群】

新規	受付総数	可	否	継続	受付総数	可	否	希望なし及び中止
	8	7	1		39	37	0	2

【SGA性低身長症】

新規	受付総数	可	否	継続	受付総数	可	否	希望なし及び中止
	96	85	11		322	290	6	26

新規依頼総数 602件

可総数 526件

継続依頼総数 1,908件

可総数 1,643件

成人成長ホルモン分泌不全症登録数 (2018年1月～12月)

新規登録 2件

継続登録 8件

} 引き続きご登録くださいますようお願い致します。